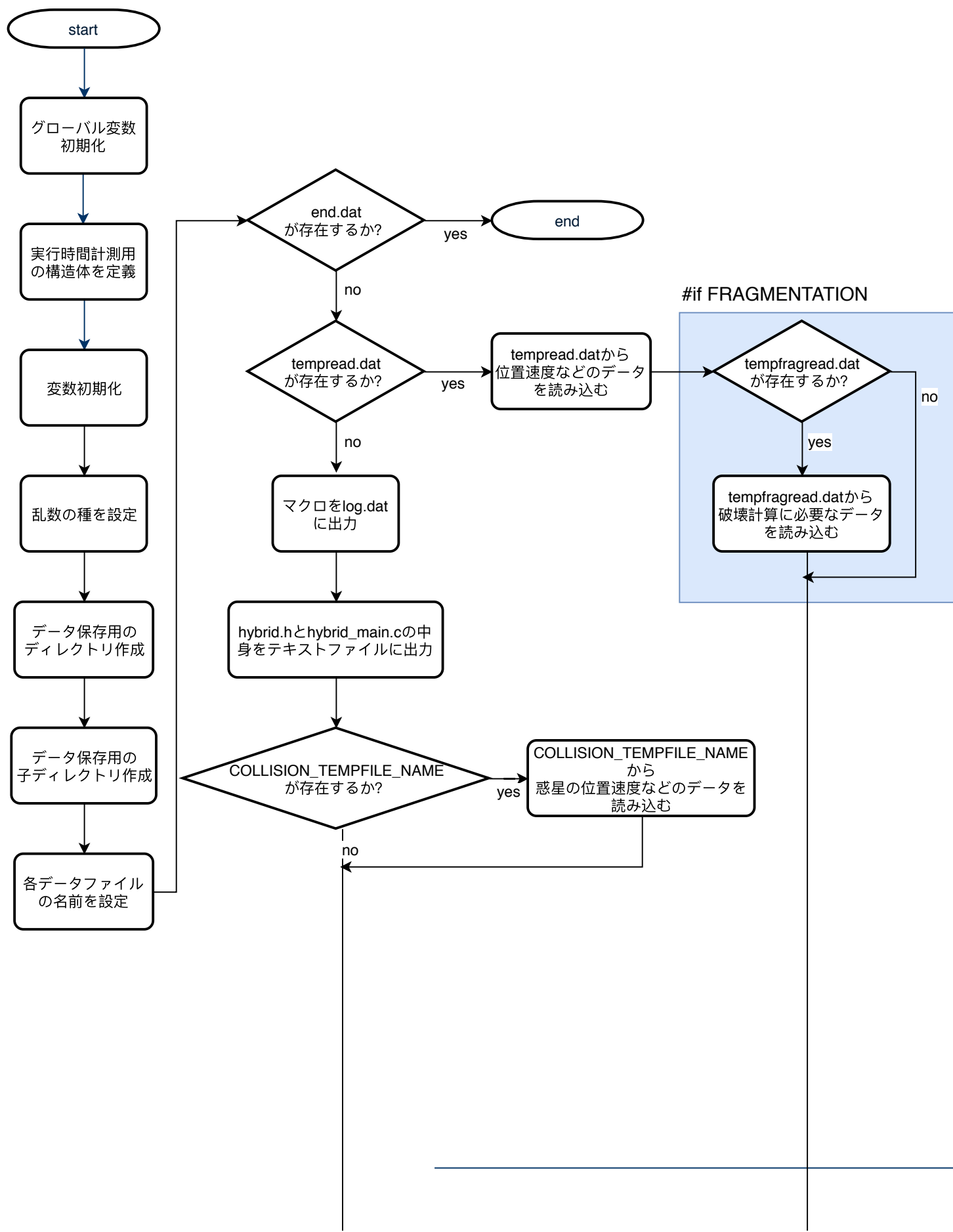
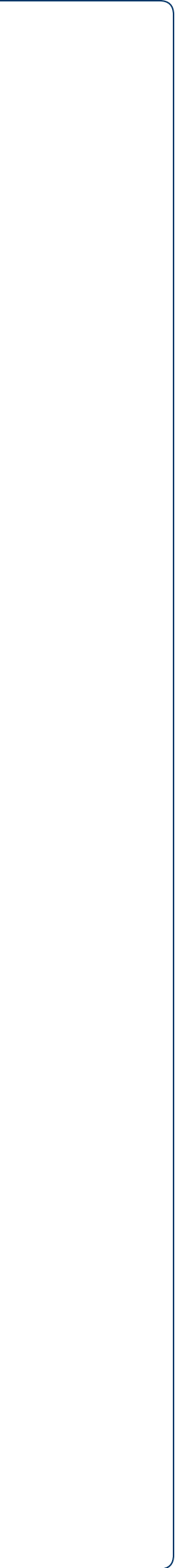
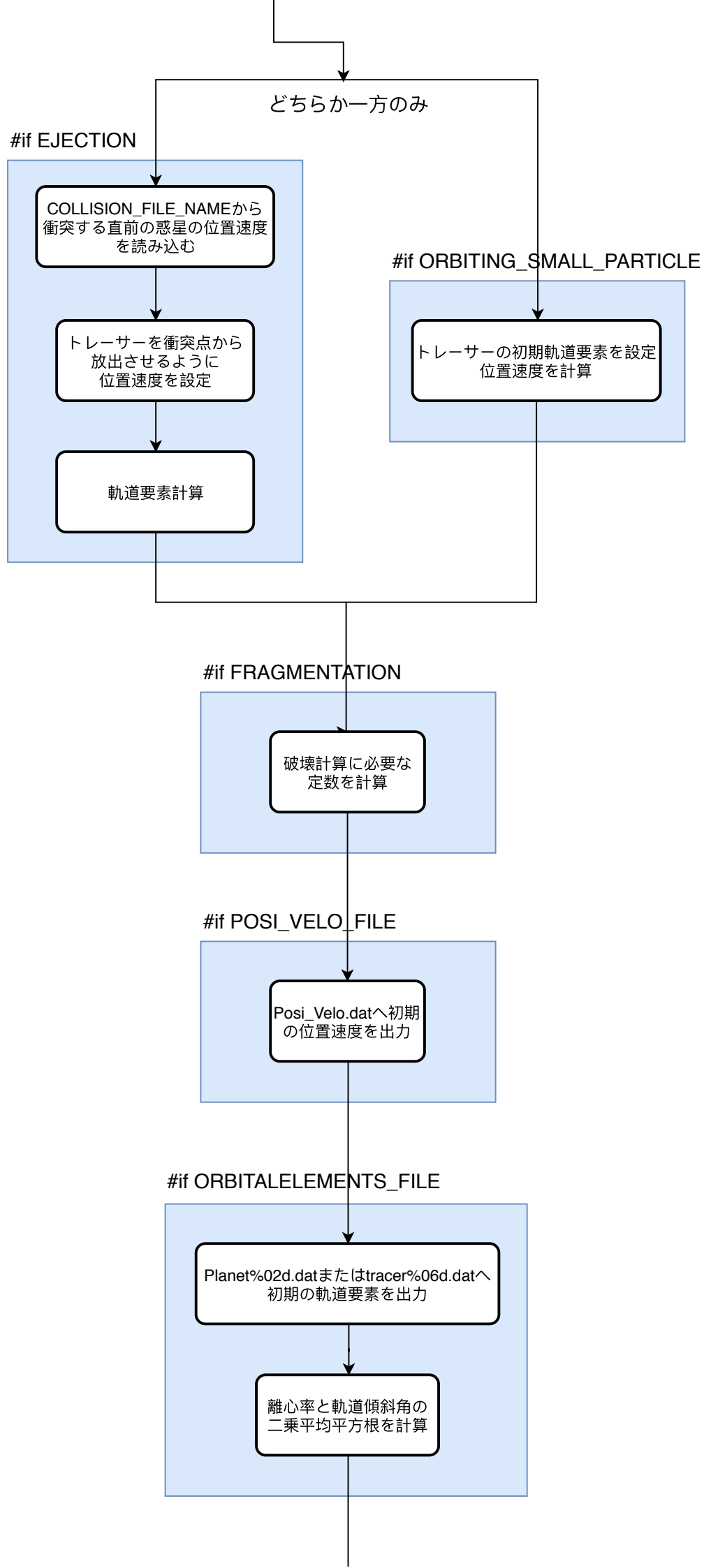


ISOYAforSaturn : 巨大衝突した天体から破片を放出させる計算

hybrid_main.c







#if ENERGY_FILE

中心星を含めた
重心計算

初期全エネルギー計算

初期全角運動量の
大きさ計算

初期加速度と加加速度
を計算

初期タイムステップ計算
2進数に設定

ヒープソートを用い
タイムステップが小さ
な順に粒子を並び替え

タイムステップが一番
小さい粒子集団の総数
をn_i_sysとする

タイムステップが一番
小さい粒子集団のうち
一番若い粒子番号を
i_sysとする

基準とする惑星の軌道長半径から
 $\pm 0.5 \cdot \text{DELTA_HILL}$
(相互ヒル半径)の範囲にいる粒子の総
数をcenterとする
それより内側にいる粒子の総数をinner、
外側にいる粒子の総数をouterとする

#if TRACERLIST_FILE

tracerlist.datへ初期
に各粒子がどの範囲
にいるかを出力

tracerlistnumber.dat
へinner, center,
outerの数を出力

tracerlistnumber.dat
へinner, center,
outerの数を出力

